

平成25・26年度 東京都教育委員会学力向上パートナーシップ事業指定地区

# 学力向上事業成果報告会



立川市立立川第一中学校



立川市立第一小学校

連携



立川市立第四小学校

平成27年1月27日（火）

## 立川市教育委員会

挨拶

立川市教育委員会 教育長 小町 邦彦

本市では、学力向上を最重要の教育課題と捉え、平成24年度から市内の全児童・生徒の学力向上を図るための施策を実施してきました。学力向上推進委員会を設置し、市内各小中学校から推薦された学力向上推進委員が、協議会を通して、具体的な方策について検討し、各学校の課題解決に向けた取組の強化を図ってきました。また、学力向上推進研究校を小学校6校、中学校3校に指定し、土曜日や夏季休業中、放課後を活用した補習等の取組や授業改善を目的とした学識経験者等による公開研修会を行い、児童・生徒の学力の定着に向けた研究を推進してきました。平成25年度からは東京都教育委員会学力向上パートナーシップ事業指定地区として、中学校区の小・中学校3校を調査研究校とし、教育委員会と連携を図りながら、習熟度別少人数指導など指導方法の工夫改善や基礎学力の定着のための補習教室等の実施について支援を行いました。今年度からは新たに教育力向上推進モデル校の指定を行い、小中連携教育の充実などを行っております。

これらの学力向上の事業を通して、少しずつではありますが成果も出始めてきました。

本日は、学力向上事業成果報告会としてこれまでの取組の成果を報告いたします。皆様にご高覧いただき、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 立川市教育委員会の学力向上施策

本市では全国学力学習状況調査や東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査結果より、学習内容の定着に課題があると捉え、以下の学力向上施策を行ってきました。

### 学力向上推進委員会の実施

- ◆「学力向上推進計画」・「学力向上推進報告」の策定
- ・各校の取組を全校で共有
- ◆具体策を検討する提案型の協議会
- ・補習教室等の工夫
- ・家庭学習の習慣化
- ・授業力向上・授業改善
- ◆啓発資料の作成
- ・市内全教員が活用できる実践を啓発資料として作成・配布

### 学力向上推進研究校の指定 (小学校6校、中学校2校)

- ◆補習教室等の取組推進
- ・学習支援員を活用した放課後、土曜日、夏季休業中の補習教室等を実施
- ◆公開研修会の実施
- ・学識経験者による授業改善を目的とした公開研修会を実施
- ◆報告会の実施
- ・学習内容の定着のための実践を報告会にて全校に普及

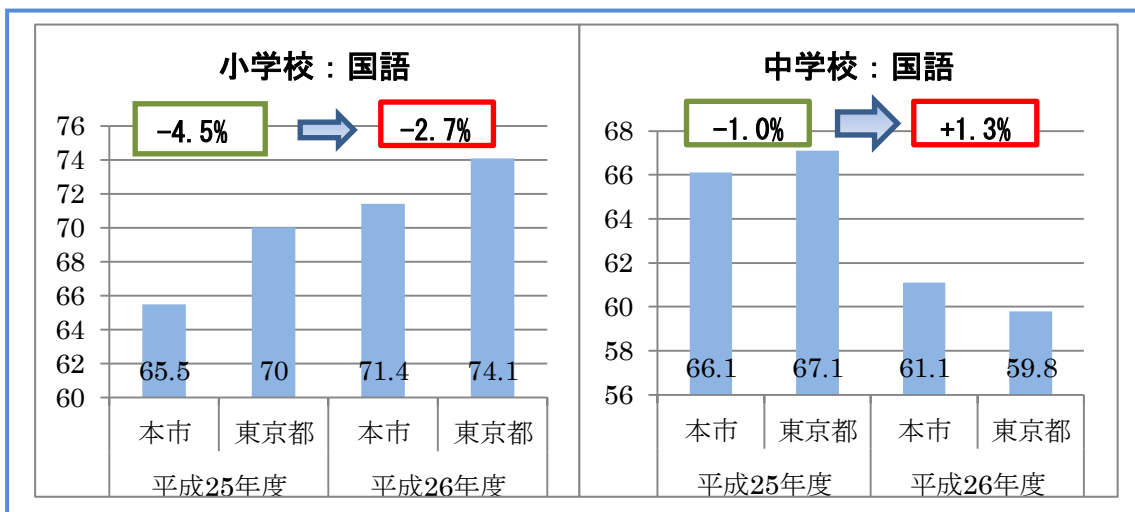
### 教育力向上推進モデル校及び研究協力校の指定

- ◆小中連携教育の充実等
- ・小中連携外国語活動を実施
- ・カリキュラムの検討
- ・モデルとなる実践を報告会にて全校に普及
- ◆研究協力校の指定
- ・校内研究への指導・助言
- ・2年に一度の研究発表会の実施

### 東京都教育委員会学力向上パートナーシップ事業指定地区としての重点的な取組

本市は平成25年度より東京都教育委員会学力向上パートナーシップ事業指定地区を受け、調査研究校である立川第一中学校、第一小学校、第四小学校の3校と連携を図りながら、学力向上の取組を実施してきました。あらゆる学習活動の基盤となる言語に関する能力の育成のために重点教科を国語とし、教科担任制や習熟度別少人数指導など、指導方法の工夫改善の支援を行ってきました。

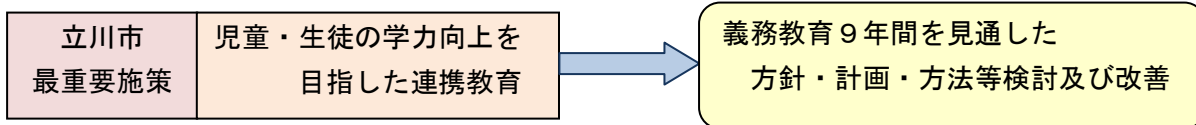
平成26年度東京都『児童・生徒の学力向上を図るための調査』国語の平均正答率における変容



平成25年度の結果では本市と東京都の平均正答率の差は小学校で-4.5%、中学校で-1.0%であったのに対し、平成26年度は小学校で-1.0%、中学校で+1.3%と上昇しました。

# 立川市教育委員会教育力向上推進モデル校（立川一中・一小・四小）

## ねらい



## 研究主題

**9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動の展開**  
 — 小・中学校の円滑な接続を目指して —

**研究概要** 研究組織を立ち上げ、「確かな学力」の育成を図る上で、より効果的な小・中連携のあり方を探る

## 研究日程

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一中校区 校長会</li> <li>・4/22 小中連携代表者会議 研究主題・組織決め</li> <li>・5/30 一中会場 研究協議会</li> <li>・7/17 小中連携代表者会議 今後の取組内容確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一中校区 校長会</li> <li>・9/3 一小会場 研究協議会</li> <li>・11/12 四小会場 研究協議会</li> <li>・成果報告会担当者会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一中校区 校長会</li> <li>・成果報告会担当者会議</li> <li>・1年次の成果と課題</li> <li>・次年度の教育課程編成の検討</li> </ul>

## 研究組織

- ◆学習指導分科会（国語部会 算数・数学部会 外国語活動・英語部会）
- ◇教育課程検討部会 ◇生活指導分科会 ◇児童・生徒交流分科会（立川市民科カリキュラム検討分科会）

## 研究協議会の基本構成

- 公開授業 ○分科会・部会 ○全体会（各分科会・部会報告）

## 活動内容

### ◆国語部会

- ◆学力向上パートナーシップ事業  
調査研究校取組確認
- ◆小・中学学習指導要領の共通理解
- ◆言語事項の定着に向けた取組  
・反復練習 ・継続性
- ◆各種学習教室の実施
- ◆読書活動の充実  
・朝読書 ・読書バイキング

### ◆算数・数学部会

- ◆一中サマースクールへの  
小学校教員派遣事業  
・中1・2年生対象  
・全12コマで設定
- ◆小・中学学習指導要領の共通理解  
・目標 カリキュラム
- ◆習熟度別少人数指導の編成に  
ついての意見交換

### ◆外国語活動・英語部会

- ◆一小・四小への  
一中英語科教員の派遣事業  
・小学校6年生対象  
・ALT・小教員とのTT
- ◆小・中学学習指導要領の共通理解  
・目標 カリキュラム
- ◆習熟度別少人数指導の編成に  
ついての意見交換

### ◇教育課程検討部会

- ◇研究協議会の企画運営
- ◇研究発表会に向けた取組  
・情報共有  
・進行管理
- ◇教育課程における調整  
・各校年間計画の共通理解  
・時程調整 ・時間割調整  
・公開授業

### ◇生活指導分科会

- ◇情報交換  
・不登校等の学校不適応児童・生徒  
・特別な支援を要する児童・生徒
- ◇児童・生徒指導の共有化  
・授業規律 ・ルール  
・あいさつ ・生活習慣  
・学校生活のしおり

### ◇児童・生徒交流分科会

- ◇部活動体験  
・夏季休業中の実施  
・各部活動2回
- ◇授業体験(10/29)
- ◇小学校運動会  
ボランティア活動(9/27)
- ◇合同ユニセフ募金(12/17)
- ◇立川市民科カリキュラム検討

【確かな学力の育成】

\* 基礎的・基本的な知識や技能の習得 \* 思考力・判断力・表現力等の育成 \* 学習意欲の向上や学習習慣の確立

【学力向上の取組】

<p style="text-align: center;"><b>学習機会の拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ステップアップ教室 4～5日間×年4回</li> <li>◆土曜学習教室 年4回</li> <li>◆サマースクール 夏季休業前6日間 99講座</li> <li>◆ビルドアップ教室 三者面談期間5日間</li> <li>◆水曜学習教室 月2回 ※学力層に応じたコース設定や指導者の工夫</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>家庭学習への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆家庭学習のしおり しおりの作成・配布（5月） →教科ごとの具体的な学習の仕方を指導</li> <li>◆宿題内容の工夫 授業の「振り返り」の中で、次の授業につながる課題提示</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>授業改善と授業力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆授業展開の工夫 生徒が学習の見通しをもてる授業 →学習のねらいや学習活動の手順を提示</li> <li>◆授業評価の活用 生徒による授業評価（年2回） →授業改善推進プランへの反映</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>評価・評定の活用の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆各教科の評価方法 学期始めに作成・配布 →学習内容の理解・計画的な学習</li> <li>◆通知表【学習の記録】+評価説明資料 終業式3日前に配布 →学習状況の振り返り・評価質問期間</li> </ul>

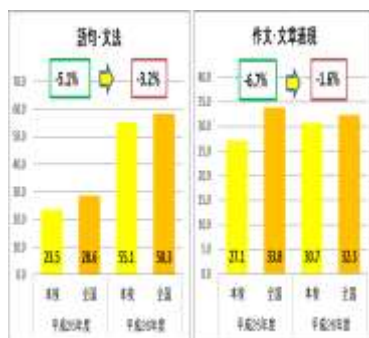
【全国学力・学習状況調査平均正答率における変容】



【東京都学力向上パートナーシップ事業調査研究校としての取組】

- ◆ 1・2年少人数授業（1学級2展開）  
→言語に関する事項「書く」こと
- ◆ 小テストの実施（授業内・単元ごと）
- ◆ 個人カルテの作成（1年）  
→教師による生徒理解
- ◆ 効果測定調査に向けた授業  
→読み取り指導・記述指導

〈観点・領域別学力診断テスト結果の変容〉



東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査効果測定結果(国語)

